

CEC21ワークショップ 研修モジュール

(1) モジュール名	C-3 : ブレインストーミング・KJ法 モジュール
(2) タイプ	[] A : 理論解説 [] B : 課題解決 [●] C : 参加体験
(3) 主な能力	() 対話 (●) 交流 (●) 討論 () 説得・納得
(4) 準備物	付箋紙 (参加人数×10), 模造紙 (グループ数), マジック (グループ数) 資料 (プレゼンスライド) コミュニケーション力指導の手引き (関連ページ copy)

(5) 流れ [90分] ※ブレインストーミングのみは45分で実施可能

時	主な活動内容	具体的内容・備考
3分	1. ワークショップのねらいを知る。	・参加型の学習方法である「ブレインストーミング」及び「KJ法」を体験するワークショップであることを伝える。
7分	2. ブレインストーミングの基本ルールと進め方を理解する。	・参加者(学習者)全員で意見を出し合い、新たなアイデアを生み出すための手法であることを説明する。 ・資料(スライド)を使い、ブレインストーミングの原則と進め方を確認する。
30分	3. テーマに沿って、全員でアイデアを出し合う。【交流】 テーマ:「学校を楽しくする方法」	・学年、担当教科、役職等を考慮してあらかじめグループを作っておく。(WS開始時にグループごとに座らせておくことよい。) ・グループファシリテーター(進行役)を決める。(あらかじめ指名しておくことスムーズである。) ・付箋紙を参加者に配布し(1人10枚程度)、まず各自のアイデアを書き込ませる。(キーワードで書き出すように指示する。) ・付箋紙を1枚ずつ出しながら、順番に発表させる。 ・グループファシリテーターは、「批判厳禁」に留意させ、話しやすい雰囲気作りに努める。 ・発表した付箋紙は模造紙に貼っていく。(ここでは、関連性は考慮せず、無造作に並べてよい。) ※ブレインストーミングのみで研修を終える場合は、ここで終了。(ブレインストーミングを取り入れた学習を計画して、まとめとする)

7分	4. K J法の概要と進め方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミングでカード化されたアイデア（意見）をグループ化し、整序して、問題解決の道筋を明らかにしていくための手法であることを伝える。 ・資料（スライド）を使い、K J法の概要と進め方を確認する。
30分	5. 出されたアイデアをもとに、グループごとに話し合う。【討論】	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミングを行ったグループでK J法を行う。 ・模造紙に貼られているカードを、関連性のあるものを集めて貼り直し、グループ化する。 ・線をつないだり、丸で囲んだりして、グループ間の関係を図解化する。 ・図解化、文章化（見出し等）されたものを見ながら、グループ内で討論する。 ・意見を組み合わせたり改良したり（統合改善）して、グループとしての意見をまとめていく。 ・意見がまとまったグループは発表の準備をする。
10分	6. グループごとに発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループファシリテータを中心に、グループの意見を発表する。（各グループ2分程度）
3分	7. 研修のまとめをする	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレインストーミング及びK J法の手順とポイントを確認する。 ・ブレインストーミング及びK J法を取り入れた学習を計画する。

（6）指導の手引での関連する内容

指導の手引き P108 -109 みんなの考えを出し合おう（国語・3年）

[作成者：佐和 伸明]